



活動報告

## 環境フェスティバルふくおか2024について

理事 大平 祐

1. 開催目的 市民団体、事業者、学校、行政の共働により、環境保全・創造に関する情報や体験を提供することで市民の行動変容及びライフスタイルの転換を図るとともに、環境保全・創造に取り組む市民団体、事業者等の情報交換の場を提供し、各主体が連携しながら活動の環を広げるきっかけを作ることを目的とする。
2. テーマ 脱炭素社会の実現(CN) 循環経済の確立(CE) 生物多様性の回復(NP)
3. 日程 2024年10月26日(土)～2024年10月27日(日)10時00分～16時00分  
会場 ソラリアゼファ・福岡市役所西側ふれあい広場
4. 来場者数 ソラリアゼファ 約800名、ふれあい広場 約23,100名
5. 啓発イベント



廃材アート展、ポップアップショップ、デロリアン展示撮影会、ふれあい蚤の市、なおしてつかうマルシェ、次世代自動車展示・試乗会、FCパッカー車ごみ投入体験、水素バス展示、WOOD WORKING BUS、ドゲンジャーズステージ、THINK for the OCEAN、ランドセル+αプロジェクトランドセルランド、MY earth カードゲーム大会

6. ふくおか環境カウンセラー協会の活動(依田、川島、森、大平)

企業・団体ブース(全39団体)の1つとして、福岡市役所ふれあい広場のA9ブースに出展しました。隣のA10は森会員らのLCFCが出展、また、デロリアンを挟んだB4は久志会員らの温防センターや推進員さん等が出展しました。

協会ブースでは、テーマに沿った脱炭素社会の実現(CN)、循環経済の確立(CE)、生物多様性の回復(NP)及び環境教育のパネルを日本生態系協会、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、九州地方環境パートナーシップオフィス(EPO九州)の御協力を得て展示しました。

また、一体的に運用した低炭素社会推進福岡協議会の環境クイズ(特にこども向け)などの対応を行いました。

九州地方環境パートナーシップオフィス(EPO九州)の佐藤さまには両日の参加とパネル類の搬入搬出をいただき、深く感謝いたします。





なお、今回展示したパネル類は、北九州市の「エコライフステージ2024」でも御活用いただきました。

### 7. 交流会

2025年1月29日に今回参加した団体等による環境フェスティバルふくおか2024団体交流会を福岡市環境局が開催し、合計33団体/51名が参加しました。

日頃の活動紹介や工夫、課題とチャンスなどを共有し、今後の活動のヒントを得ました。環境カウンセラーに関心をもたれた方には養成講座やふくおか環境カウンセラー協会の案内を行ない、我々とともに御活動いただくことを期待しています。

### 活動報告

北九州市「エコライフステージ2024」に出展しました  
 《2024年(令和6年)11月16日(土曜日)、17日(日曜日)開催》

**出展タイトルは、「地域の生物多様性を守ろう！」**

理事 森本 美鈴

今、各地域で維持されてきた生物多様性が、外来種によって捕食されたり、生息場所を奪われたり、交雑して遺伝的になく乱をもたらされるなど危機に瀕しています。

当協会は地域の生物多様性を守るために、身近な特定外来生物の紹介や外来種の生態系/農業等産業への影響、これらの外来種をどうやって駆除するかなどについて、クイズをしながら、パネルと実物でわかりやすく紹介しました。

外来種の代表としては生きたザリガニの展示をし、その他に「いきものクイズ」も実施しましたが、今回特徴的だと思ったのは、ほと

んどの動植物をほぼ全員の子どもたちが知っていましたが、どこで見たかと聞くと、「いのちのたび博物館」や「動物園」も少しはありましたが、ほとんどがネットで見たとのこと。つまり地域の自然や生活の中で見た子どもはまずいませんでした。知識としては知っているが、実際には見たことがないようです。という筆者もアライグマは動物園でしか見たことがありま



せんが…。また来訪者との会話では、悪影響を及ぼす外来生物が身近に存在することを知らない人が多く、ザリガニやアカミミガメ(ミドリガメ)等を飼育している場合は最後まで飼うことを伝え、野外には話さないように説明しましたが、そのことを知っていたあるお母さんは、ザリガニが飼えなく

なった時、子どもに説明して、から揚げにして食べた！と聞きました。やはり一番に大人が知る事が大事だと感じた次第です。

また実物展示は効果絶大なのですが、ザリガニは八百屋さやか会員がたまたま生育場所を知っていたので入手できましたが、アカミガメは入手が難しく、たとえばオオキンケイギクはフェスタの開催される秋には花が咲かず、準備するのが難しい面もあります。

二日間とも、低学年の子供を複数連れて若い家族が多く、外来種の説明に奔走していて、その様子の写真が撮れなかったのは残念です。

北九州市の「エコライフステージ」は、日ごろから積極的に環境活動に取り組む市民・NPO・企業・学校・自治体などのブース出展や、イベント等を通じて、来場者にさまざまなエコライフを提案・発表する、西日本最大級の環境イベントです。

今年は23回目で「エコライフステージ、新しいステージへ」が全体テーマでした。エコ活動を通して、市民の皆さんが気軽に、楽しく、エコライフについて学ぶことができれば、市民環境力の向上につながると、毎年開催されています。

雑観

## 「ロンサム・ジョージ」を知っていますか？

理事 川島 伸治

突然ですが“チャールズ・ダーウィン”をご存じでしょうか？ダーウィンといえば「種の起源」や「生物進化論」といった用語を思い浮かべる方が多いと思います。彼は、イギリスの自然科学者(生物学、地質学)で、種の進化生物学を発表し、全ての生物種が共通の祖先から長い時間をかけて進化したことを明らかにしました。そして、ダーウィンの進化論といえば「ガラパゴス諸島」ですよ！！

ガラパゴス諸島は、赤道直下の東太平洋に浮かぶエクアドル領の島々で、200以上の島と岩礁からなっており、“ガラパゴス”とはスペイン語で「カメたちの島々」という意味だそうです。ガラパゴス諸島の生物といえば、陸イグアナや海イグアナ、多様なフィンチ類が挙げられますが、気になるのはなんとといっても「ガラパゴスゾウガメ」に違いありませんよね！（私はそうですけど…）。

最近、以前読んだ「ひとりぼっちのジョージ～最後のガラパゴスゾウガメからの伝言～」という本を再読する機会がありました。ガラパゴスゾウガメは諸島の主な島々で生息しており、その島ごとに遺伝子が異なることから種の保存の希少性が訴えられましたが、ビンタ島では乱獲によって長年絶滅したと思われていました。しかし1972年に偶然ゾウガメが発見され、その生き残ったゾウガメが「ロンサム・ジョージ(ひとりぼっちのジョージ)」と呼ばれるようになり、漫画「ゴルゴ13」にも登場するほど有名になったのです。人間はその遺伝子を残そうとしましたが、彼は近縁種と交尾しようとはせずにその生涯を終えました。

2025年2月12日は、チャールズ・ダーウィン216回目の誕生日でした。



表彰



受賞おめでとうございます!

★環境大臣表彰「令和6年度環境省地域環境保全功労者」★

ふくおか環境カウンセラー協会 理事 川島 伸治 氏

【主な功績】

多年環境保全に携わり、特に幼少期のこどもを対象とした、ESDの視点による3R推進活動を継続的に実施し、持続可能な循環型社会形成に注力している。

★県知事表彰「令和6年度福岡県環境保全功労者」★

ふくおか環境カウンセラー協会 島田 賢治 氏

【主な功績】

環境カウンセラー及び環境教育インストラクターの資格を活用し、水環境保全の環境学習を多数実施している。17年以上にわたり環境保全活動及び環境教育に従事しており、2012年から小学生向けの出前講座を本格的に実施している。

事務局より

◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。また、全国連合会費も会員数に応じて支出しています。会費未納の方は至急納入してください。

年会費 3,000 円 振込先:郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号:13271061 名前:ふくおか環境カウンセラー協会

◆準会員 並びに 賛助会員 募集

準会員:会費(1口2千円) 賛助会員:会費(1口1万円) 学術会員:会費なし

発行責任者: 依田 浩敏 (編集責任者: 川島伸治)

連絡先: 〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉2-3-36

TEL/FAX:092-672-9911

<https://fukuoka-eca.org/>メールアドレス: [feca.office@gmail.com](mailto:feca.office@gmail.com)